

# 丹波並木道中央公園リノベーション計画

令和8年3月

兵庫県丹波県民局丹波土木事務所

兵庫県まちづくり部公園緑地課

## 目 次

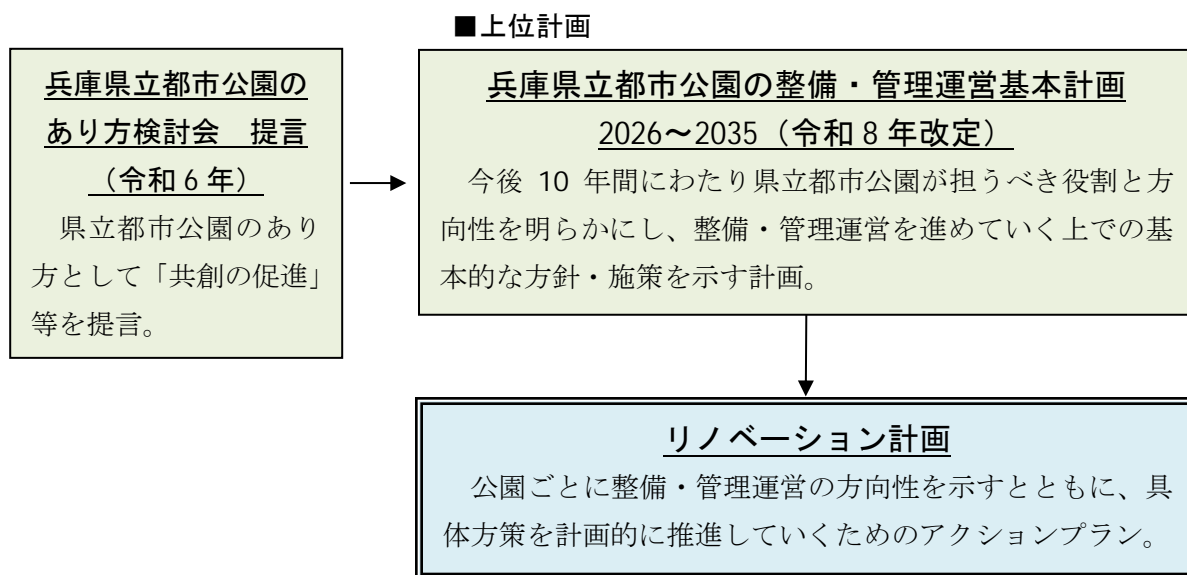
1 計画の基本的事項 .....	1
1-1 背景と目的 .....	1
1-2 リノベーション計画更新の考え方 .....	1
2 計画の推進 .....	3
2-1 都市公園を取り巻く状況 .....	3
2-2 リノベーション計画の進め方 .....	4
(参考)【表 県立都市公園の成り立ち】 .....	5
3 丹波並木道中央公園の計画内容 .....	6
3-1 丹波並木道中央公園の概要 .....	6
3-2 リノベーションテーマ .....	9
3-3 リノベーション方針 .....	9
3-4 取組内容 .....	12

# 1 計画の基本的事項

## 1-1 背景と目的

兵庫県では、「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画 2026～2035」（以下、「基本計画」という。）に基づき、「誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園」の実現を目指し、県立都市公園の整備・管理運営を推進しています。

基本計画では、全ての県立都市公園を対象にして、基本的な方針・施策を示すとともに、各公園が取り組むべき具体的な内容について、各公園のリノベーション計画（アクションプラン）に位置づけた上で、「共創」の理念のもと、事業を展開していくこととしています。



## 1-2 リノベーション計画更新の考え方

社会情勢等を踏まえ、管理運営協議会等で検討した上で、随時、計画の点検・見直しを行います。

## Column 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画とは？

「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画 2026～2035」では、県立都市公園の将来像、推進体制及び方針・施策を下記のとおり定めています。

### 将来像

**誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域がつながる公園**

### 県民と育む推進体制

将来像の実現に向けて、様々な分野の県民・指定管理者・行政が「共創」の理念のもと、それぞれの役割を發揮しながら、基本計画の施策を推進していきます

### 施策方針と施策

将来像	施策方針	施策
誰もが自分らしく生き生きと過ごせ、人や地域が公園	1 県民にとってより身近な公園	(1) 心身の健康の増進
		(2) こどもの健やかな成長の促進
		(3) 安全・安心な場としての充実
	2 誰もが自分らしく過ごせる公園	(4) 多様な過ごし方の実現
		(5) 誰もが快適に利用できる環境づくり
3 地域のつながりを育む公園	(6) 地域連携の推進と地域文化の保全	
4 自然環境を次世代へつなぐ公園	(7) 生物多様性確保の推進	
	(8) 気候変動への対応の推進	
5 持続可能なパークマネジメントの推進	(9) 老朽化対策や改修の計画的な推進	
	(10) 持続可能な管理運営の推進	

## 2 計画の推進

### 2-1 都市公園を取り巻く状況

基本計画では、都市公園を取り巻く潮流や都市公園に求められる事項を下記のとおり整理しています。リノベーション計画において、各公園における具体的な取組内容を検討する際は、下記事項を踏まえて検討します。

#### ●潮流

##### (1)まちづくりGX

「気候変動への対応」、「生物多様性の確保」、「Well-beingの向上」等の社会的要請に対して、都市公園の多様な機能を活かした取組を推進。

##### (2)都市公園法の改正(平成29年)

平成29年の都市公園法の改正により、民間活力を活用したPark-PFI制度が新たに設けられ、官民連携を推進する制度が拡充。

##### (3)国による都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(令和4年)

提言では、“使われ活きる公園”の実現に向け、「まちの資産とする」、「個性を活かす」、「共に育て共に創る」の3つの変革と、「グリーンインフラとしての利活用」、「誰もが快適に過ごせる空間づくり」、「利用ルールの弾力化」、「社会実験の場としての利活用」、「担い手拡大と共創」、「自主性の向上」、「公園DXの推進」の7つの重点施策が示されている。

##### (4)県による県立都市公園のあり方検討会提言(令和6年)

提言では、都市公園の整備・管理運営においては、「県民参画による共創の促進」と、「公園の特性に応じた柔軟な対応」等が重要と示されている。

#### ●都市公園に求められること

##### (1)公園利用の変化への対応

- ・障がいのある方や高齢者、外国の方等、多様な利用者が快適に過ごせる空間づくり
- ・多様化する利用ニーズに対応するため、利用ルールの柔軟な運用（ボール遊び等）

##### (2)地域との連携強化

- ・地域活性化や地域課題の解決に向けた、周辺施設や民間企業との連携強化
- ・地域文化の継承に向け、公園資源や周辺地域の資源を活用した取組の推進

##### (3)環境問題への対応

- ・生物多様性の確保や気候変動への対応に向けた、都市公園が持つ多様な機能を活かした取組の推進

##### (4)公園の持続的な管理運営

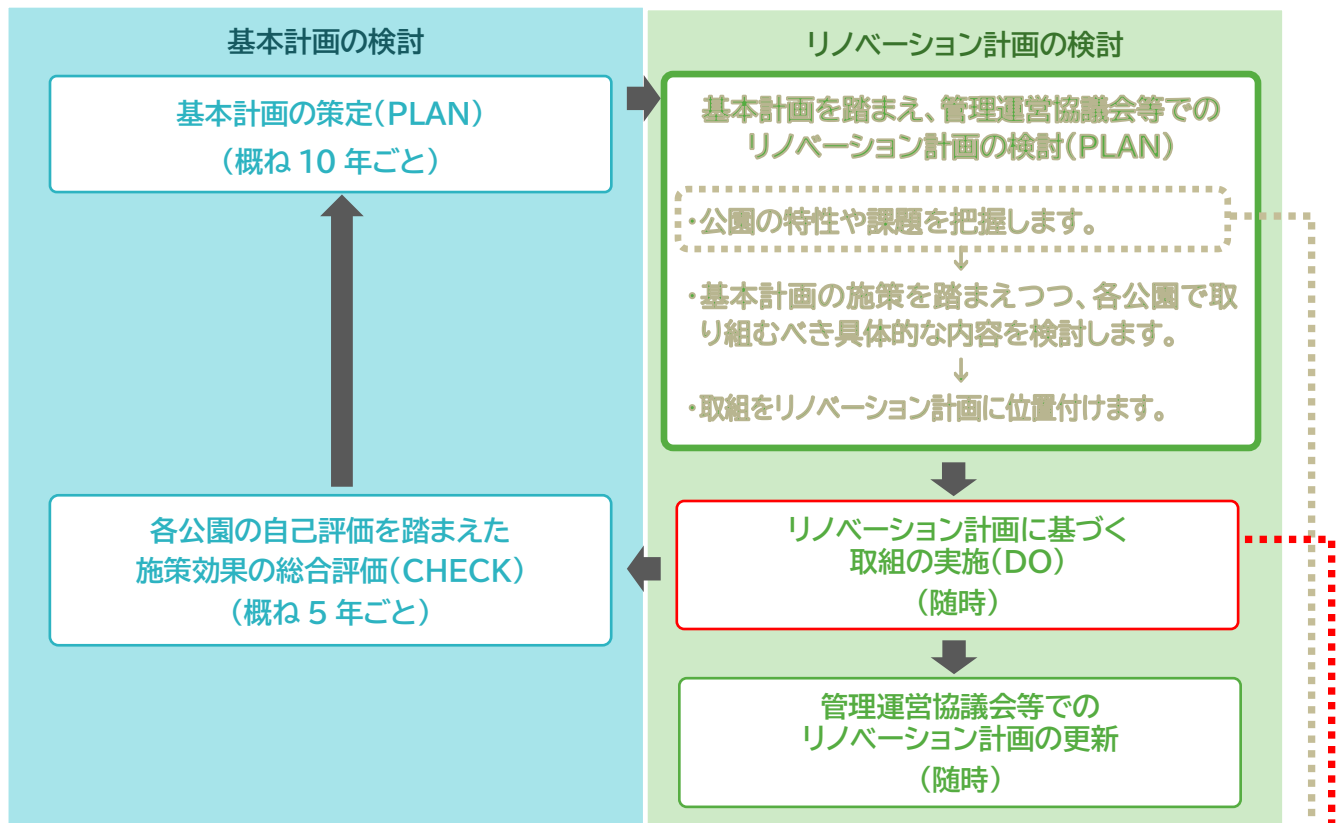
- ・県民が公園運営に参加し、活躍できる場の創出や、地域と行政をつなぐ人材の育成

## 2-2 リノベーション計画の進め方

リノベーション計画は、管理運営協議会等を通じて県民の意見を適切に反映しながら、具体的な取組内容を検討していきます。そして、時代の潮流や利用者ニーズの変化に柔軟に対応するため、取り組む内容については必要に応じて随時見直しや更新を行います。

また、リノベーション計画の取組実績等は、基本計画の総合評価等にフィードバックし、次期計画への改善・反映につなげていきます。

具体的なフローは以下のとおりです。



### ※公園の特性把握に向けた調査・検討の視点

#### ■これまでの取組の蓄積を振り返る

過去の取組実績とその成果を振り返り、各公園が今後も継続・発展させるべき事項を整理します。

#### ■公園内外の資源を確認する

公園内の施設や周辺地域・環境が有する資源（自然、歴史遺産、文化的営み、観光施設等）に着目し、公園の強みや周辺と機能分担すべき事項を確認します。

#### ■利用実態・利用ニーズを把握する

利用者アンケート等の結果を分析し、時代に応じて利用者が公園に求めているものを把握します。

### ※リノベーション計画の実施について

県が優先順位に基づく実施スケジュール案を管理運営協議会等で示し、協議を経た上で実施します。

(参考)【表 県立都市公園の成り立ち】

時期		県立都市公園の成り立ちと歴史													県等の動向		国等の動向			
		明石	甲山森林	播磨中央	淡路島	赤穂海浜	一庫	有馬富士	三木防	丹波並木道	淡路佐野	西猪名	舞子	瀬山	尼崎	石の寝屋				
第1期	明治から戦前・戦後	M16	<p>○M16民営公園として開園</p> <p>■M17明石公園開設 民営公園として開園後、御料地への編入を経て、県立公園として開園</p> <p>□T13拡張(南部) □S7拡張(野球場整備等)</p> <p>■M33舞子公園開設 「地盤国有公園」として誕生した初の県立都市公園 松林を中心に広く一般に供された</p>													◆S22 第1回国体開催(宝塚市等)	○M6 太政官布達、公園制度の創設 ○T8 (旧)都市計画法の交付、公園が都市計画対象となる			
第2期	高度経済成長	S30	<p>□S44～各施設の順次改修、新設</p> <p>■S45甲山森林公園開園 甲山周辺の緑地の保全、豊かな自然の中での健康づくりをテーマとして整備</p> <p>□S48整備着手:「兵庫百年」「明治百年」記念事業として整備 □S51整備着手</p> <p>■S53播磨中央公園開園 東播磨地域の文化・スポーツ・レクリエーションの核 「緑の回廊計画」の中核施設としての整備</p> <p>○S56軟式高校野球全国大会会場としての使用開始</p> <p>○S58一庫タムの管理開始</p> <p>○S58レクリエーション開発構想「三田サン・イベント構想」</p> <p>■S57西猪名公園開園 伊丹空港周辺の環境整備事業の一環として工場跡地(運輸省買収)を整備</p> <p>○S38瀬山における土砂採取開始</p>													◆S41 「県勢振興計画」 ◆S42 「兵庫百年」「明治百年」記念事業	○S31 都市公園法の公布 ○S37 全総<地域間の均衡ある発展> ○S43 都市計画法(新法)の公布 ○S44 新全総<豊かな環境の創造> ○S47 「都市公園等整備五箇年計画」			
第3期	都市の拡大とバブル景気	S60	<p>■S60淡路島公園開園 淡路島内及び周辺地域のレクリエーション需要への対応</p> <p>□S61拡張計画 昭和天皇在位60周年記念健康運動公園に指定</p> <p>■S62赤穂海浜公園開園 西播磨地域の多様なスポーツ、レクリエーション需要への対応</p> <p>□H1追加開園(赤穂わくわくランド) □H1「丹波の森構想」策定 □H2追加開園(赤穂広場等) □H2基本計画策定</p> <p>□H4計画見直し □H3追加開園(泉民の森等) 緑地保全を優先した計画に見直し</p> <p>○S60追加開園(ウォーターランド、テニスコート)</p> <p>□H6土砂採取の終了 □H6基本構想策定</p>													□S60 「全県全土公園化構想」 □S61 「兵庫2001年計画」	○S61 「第4次都市公園等整備五箇年計画」			
第4期	阪神淡路大震災以降	H8	<p>□H9追加開園(オートキャンプ場) □H10追加開園(ハイウェイアシス等)</p> <p>■H10一庫公園開園 緑の保全を第一の課題とし、「自然と人の出会いの場」を メインテーマとして整備</p> <p>□H13基本計画見直し(埋文調査) □H11追加開園(駐車場) ■H12瀬山緑地開園 瀬山周辺土砂採取跡地の長大な斜面地の緑の回復</p> <p>■H13有馬富士公園開園 阪神間北部の豊かな自然環境の保全、増大する多様なレクリエーション需要への対応</p> <p>□H14全面供用</p> <p>□H15拡張</p> <p>○H16明石城跡の国史跡指定</p> <p>□H16追加開園(交流ゾーン) □H17全面開園</p> <p>■H15淡路佐野運動公園開園 全国・県大会レベルの公式大会の開催、 野球王国兵庫への支援、特に少年野球の夢舞台づくり</p> <p>■H17三木防災総合公園開園 県下全域を対象とする圏域防災拠点、 レクリエーション、地域スポーツの振興拠点として整備</p> <p>□H18(芝生広場)、H19(屋内テニスコート)追加開園</p> <p>■H19丹波並木道中央公園開園 「丹波の森構想」中核施設として整備</p> <p>□H21第1期事業完成 □H21追加開園(旧木下家住宅) □H21追加開園(クラフト工房場) □H21間伐実施</p> <p>□H22追加開園(自然体験の森ゾーン他) □H22追加開園(旧武蔵山治邸)、グラントオープン</p> <p>□H23追加開園(草原と花のゾーン) □H23追加開園(第2多目的グラウンド)</p> <p>□H26「新宮晋風のミュージアム」オープン □H26,27追加開園(大芝生広場他)</p> <p>□H26第2期区域の都市計画廃止 ○H27「丹波地域恐竜ワールドミュージアム構想」においてコア施設として位置づけ</p> <p>■H27あわじ石の寝屋緑地開園 明石海峡大橋周辺地域における無秩序な開発抑制、 緑地の保全</p> <p>□H29「ニジクン/モリ」オープン □H30追加開園(屋内練習場) □H30追加開園</p> <p>○H30明石公園開園100周年 □H30リニューアル □H30追加開園 ○R1ラグビーワールドカップ事前キャンプ地</p> <p>○R1日本遺産『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂 認定</p> <p>○R4PF1事業終了 R5指定管理開始 ○R5間伐実施 ○R5尼崎の森、石の寝屋 自然共生サイト登録</p> <p>□R5サイクリングコース供用開始 ○R7長期指定管理開始</p>													□H8 「兵庫県グリーンフェニックス計画」 ◆H10 明石海峡大橋の円通	○H10 21世紀の国土のグランドデザイン <多軸型国土構造形成の基礎づくり> ○H10 「第6次都市公園等整備五箇年計画」			
第5期	これから	R8	<p>「県立都市公園の整備・管理運営基本計画2026～2035」 ①計画期間:2026～2035(10年間) 概ね5年で計画の点検 ②施策方針: 1 県民にとってより身近な公園 2 誰もが自分らしく過ごせる公園 3 地域のつながりを育む公園 4 自然環境を次世代へつなぐ公園 5 持続可能なパークマネジメントの推進</p>													◆R3 淡路花博2021花みどりフェア □R3 「ひょうごビジョン2050」 □R5 県立都市公園のあり方検討会提言 ◆R7 淡路花博2025花みどりフェア □R7 「県立都市公園の整備・管理運営基本計画2026～2035」 □R9 「緑の広域計画」策定	○H26 国土のグランドデザイン2050 <コンパクト+ネットワーク> ○H27 持続可能な開発のための2030アジェンダの採択 ○H27 国土形成計画 ○H29 都市公園法改正(Park-PFI) ○R2 ニューノーマルに対応した公園の活用 ○R6 都市緑地法改正(緑の広域計画)			

■県立都市公園としての開園、□各公園に関連する動向(計画見直し、追加整備等) ○各公園に関する出来事(イベント、周辺地域の動向)

□:関連計画等  
◆:関連イベント、出来事等

### 3 丹波並木道中央公園の計画内容

#### 3-1 丹波並木道中央公園の概要

##### (1) 公園概要

公園名	丹波並木道中央公園	
開設年月日	平成 19(2007)年 10 月 14 日	
面積	計画面積：70.9ha 開園面積：70.9ha	
公園種別	広域公園	
主な施設	森林活動センター（製材所）、茅葺民家、棚田、灰家(はんや)、ローラー滑り台、芝生広場、サイクルステーション、恐竜遊具、太古の生きもの館（丹波篠山市立）	

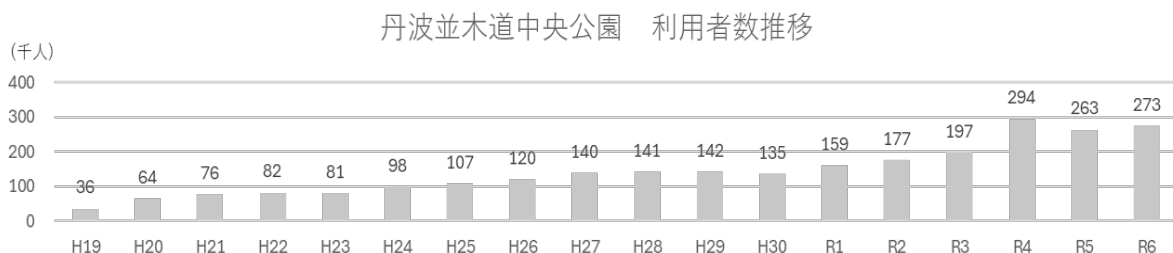
丹波並木道中央公園は、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」の中核拠点として、「みんなでつくり、育てる公園」をテーマに参画と協働により、計画・整備した広域公園である。園内は棚田や茅葺民家、地域の伝統的な灰屋を再現し、丹波地域の昔ながらの農村生活等を体験できる公園である。

また区域の 65%がスギ・ヒノキ人工林であることから、公園内に製材所を設け、園内間伐材を資源とした遊具、ベンチの製作や木工教室を開催するなど丹波地域のなりわいを生かした公園づくりを進めている。

また、公園内から恐竜の化石が発見されたことから、恐竜や化石をモチーフにした遊具や、サイクルツーリズムを推進するために設定したサイクリングモデルルート「兵庫丹波チャレンジ200」の拠点としてサイクルステーションを整備している。

##### (2) 利用者の推移

平成 19 年の開園以来、利用者数は増加傾向にあり、令和 4 年度にはピークとなる 294 千人の利用となった。その後は、270 千人前後で推移している。



(3) 施設配置図



サイクルステーション



茅葺民家



ほねほね化石広場



森林活動センター



動く恐竜



わくわく恐竜広場



ローラーすべり台



灰屋



展望台



棚田



(4) 丹波並木道中央公園の成り立ち

公園名	時 期												これから			
	戦後復興及び高度経済成長			都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降							R8		
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23		H28	R3
	緑の回廊計画			→ 全県全土公園化構想			→ 兵庫県グリーンフェニックス計画			→ 兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針			→ 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画[2026~2035]
	丹波並木道中央公園リノベーション計画															
丹波並木道中央公園	取組み概要												丹波の森構想に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化拠点整備	恐竜化石の発見を契機とした学習教育拠点機能、地域活性化拠点機能の拡充		
	整備												住民の参画と協働への取組み	共創の促進		
	管理・運営												共創の促進	共創の促進		
												<p>H2:大規模レクリエーションリゾート公園として基本計画</p> <p>H1:「丹波の森構想」の策定</p> <p>S63:和歌山県21世紀公園都市博</p>	<p>H13:埋蔵文化財及び貴重種の確認を受けて計画の見直し・造成計画の縮小</p> <p>・オートキャンプ場計画→自然観察園(森の聖域)</p> <p>H19:開園「丹波の森構想」の中核施設として整備</p> <p>H26:第2期区域の都市計画廃止</p> <p>H22:追加開園により、全面開園</p> <p>H22,23:公園内において恐竜の化石発見</p> <p>H18:当園周辺地域において恐竜の化石発見</p> <p>H20:当園周辺地域で国内最古級の哺乳類化石発見</p> <p>H27:「丹波地域恐竜フィールドミュージアム構想」においてコア施設として位置付け</p> <p>H29:太古の生きもの館(篠山市設置管理許可施設)の整備</p> <p>R3,4:恐竜遊具の整備</p> <p>R2:「兵庫県自転車活用推進計画」策定</p> <p>R2:丹波サイクルチャレンジ200の拠点</p> <p>R3:サイクルステーションの整備</p>	<p>○森林の適切な管理</p> <p>○恐竜、自転車等を活かした観光振興事業</p> <p>○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施</p>		
												<p>H13:参画と協働による公園の基本・管理運営の検討、参加型イベントの実施</p> <p>H18:管理運営協議会(森の円卓会議)開始</p> <p>H19:公募による指定管理開始</p>	<p>R6,7:あり方検討会開催</p>	○協議会のさらなる充実		

### 3-2 リノベーションテーマ

丹波並木道中央公園のリノベーションテーマおよびキーワードを以下の通り設定する。

リノベーションテーマ：恐竜と丹波の森を活かした地域・観光振興

キーワード：

恐竜

丹波の森

観光

### 3-3 リノベーション方針

公園の成り立ちや各施設の利用状況、周辺施設の状況等から総合的に判断し、「新規施設導入」、「機能の更新」、「機能の維持・保全」に分類したリノベーション方針を示す。

対応については、今後、管理運営協議会等で詳細を議論することとする。

なお、実施に当たっては、財政状況・施設の運営状況・社会情勢（ポストコロナ・SDGs等）を考慮し、県民全体のサービス向上に資するように努める。

#### (1) 現状と課題及び方針

■：新規施設導入 ■：機能の更新 ■：機能の維持・保全

キーワード	施設名等	利用状況	課題	対応（○ハード、■ソフト）
丹波の森	森の聖域ゾーン	●森林活動センター事業の一環として里山管理体験を実施。	●樹木の高木化が著しく、強風等による倒木等が懸念される。	機能の維持・保全 ○■住民参画での森の作業は継続しつつ、森林全体の間伐計画の策定及び間伐の実施
	棚田	●赤米の田植えや収穫、灰屋で肥料づくり、糞を使ったしめ縄づくり体験の実施。学校等が実施する自然環境体験学習を受け入れている。	●学校の予算削減等により、校外学習の団体予約が減少傾向にある。	機能の維持・保全 ■学校中心ではなく、子育てグループなど参画のターゲットを拡充
	森林活動センター	●間伐材を活用した木工講座の実施。木工サポーターによる活動支援がある。	●園内の間伐材をベンチ等の補修や木工教室に利用する等、その有効活用に取り組む必要がある。	機能の維持・保全 ■幼児用の手作り木製遊具の製作と活用 ■木のおもちゃの貸出による子どもが楽しく遊べる空間の提供
恐竜	管理事務所、かやぶき民家	(管理事務所) ●トイレ利用が多い、会議室利用は少ない、隣接広場では手作り遊具を使った親子利用が多い。 (かやぶき民家) ●カフェイベントや昔あそび会等のイベントを実施。	(管理事務所) ●床が木製のため、トイレに行く場合、入り口でスリッパに履き替える必要があり、車イスが使えない。 ●授乳室がない。	機能の更新 ○バリアフリー対応の実施 ○授乳室の設置
	遊具(ローラーすべり台)	●約50mのすべり台であり、子どもの遊び場として利用されている。	●子供連れ利用が多い公園であるのに、遊具の数が少ない。	新規施設導入 ○恐竜遊具等の遊具の増設
	恐竜体験施設	●屋内施設として篠山市立太古の生きもの館が園内に設置してある他、屋外イベントとして化石発掘体験を太古の生きもの館及び人と自然の博物館が実施。篠山層群の露頭見学スペースや化石発掘体験スペースを備えている。	●園内で恐竜化石が発掘された事実や、園内にある太古の生き物館が、公園で活かされていない。 ●滞在時間が短い。	新規施設導入 ■恐竜発掘地としての本公園の活性化及び、多様な恐竜が発掘されている丹波地域の観光振興のため、園内にある太古の生きもの館や県民局、市と連携 ○■恐竜をテーマとした新たな公園施設の整備(恐竜遊具、恐竜モニュメント、恐竜ベンチ、ARソフト) ■人と自然の博物館やいきもの館と連携した、化石発掘体験の充実、発掘体験ボランティアの育成
	登山路	●フルディックウォーキング等のイベントを実施。 ●普段のウォーキングに利用。	●山頂や麓までの案内が不十分である。 ●樹林地では、樹木の生長に伴う高木化が著しいため、倒木対策等の安全対策が必要である。	機能の維持・保全 ○間伐材等を利用したサインの充実 ○樹木の伐採による安全・眺望の確保
観光	サイクルステーション	●ひょうごサイクリングモデルルート“兵庫丹波チャレンジ 200”(R2.7)のスタート/ゴール地点となっている。	●ひょうごサイクリングモデルルートのスタート/ゴール地点として位置づけられているが、サイクリストの休養施設がない。	新規施設導入 ○サイクルステーションの整備 ○休養施設等のサイクリストの自転車利用環境の整備 ■園路での自転車利用のルール作り(歩行者の安全対策の検討)
その他	駐車場	●車での来園が約9割を占める。	●土日祝日は駐車場が満車になるため、芝生広場に臨時駐車場を設けているが、車両対応が不十分である。	機能の更新 ○臨時駐車場の車両対応整備や、新たな駐車場の増設
	並木道	●公園利用者が通行。	●公園の名称になっている並木道のケヤキが弱っている。	機能の維持・保全 ■樹勢回復や樹種変更等の検討

キーワード	施設名等	利用状況	課題	対応（○ハード、■ソフト）
管理運営	管理運営協議会	●年2回開催している。	●プログラムの活性化などに向けた事業費の確保が必要である。 ●木工スタッフが高齢化している。	■間伐材を用いたベンチなどを製作し他公園へ販売するなど自主財源を確保する仕組みづくり ■住民や企業等の参画・協働など木工イベントが継続的に行える仕組みづくり

## （2）公園をとりまく社会情勢の変化への対応

コロナ後等の社会情勢を見据え、施設の新たな活用を検討するとともに、SDGs 達成を目指した取り組みを推進する。

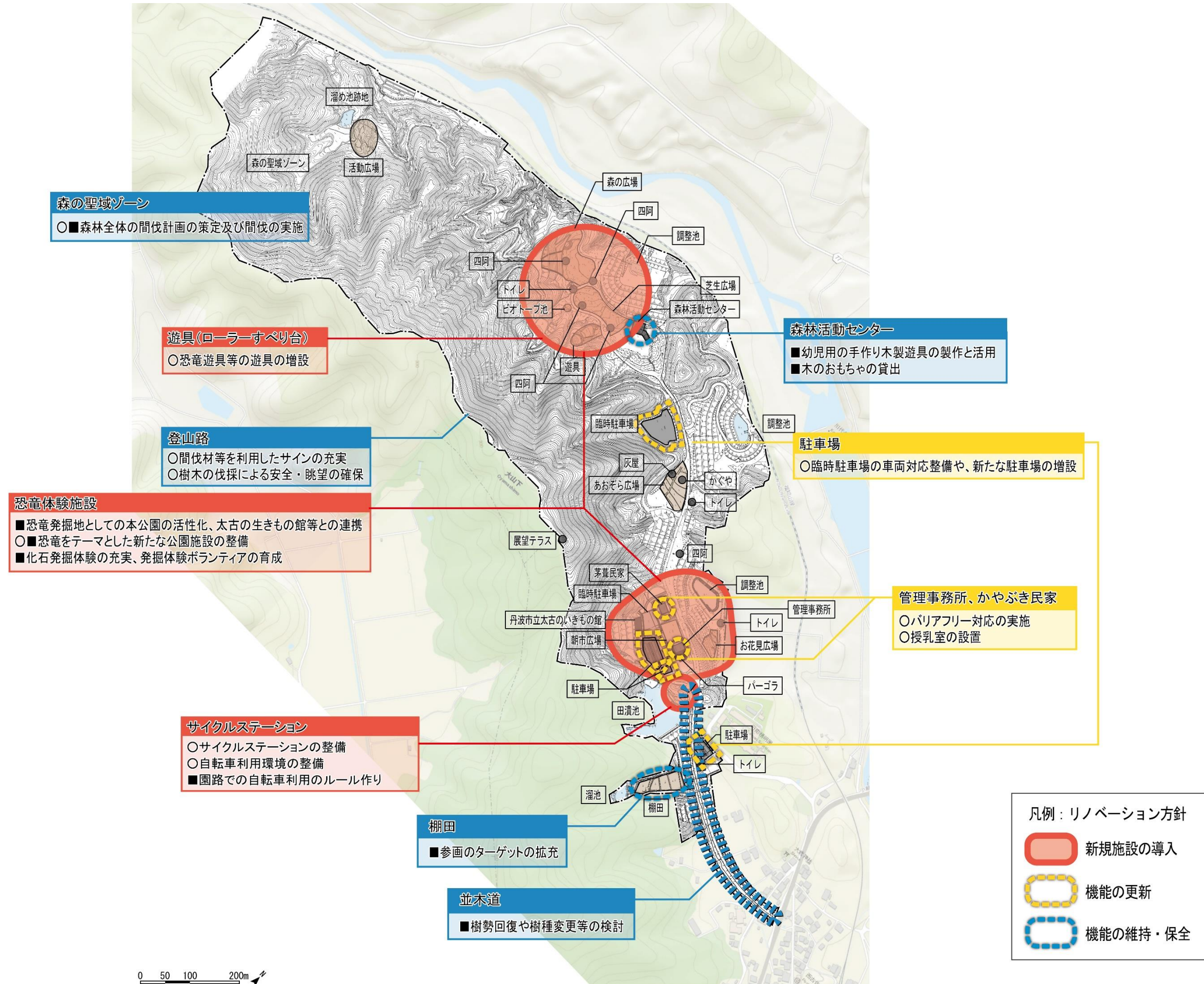
（ポストコロナ）

- 「3密」回避できるセルフレクリエーションの推進
  - ・ハイキングやトレイルランニング、サイクリング等の利用促進のための環境整備
- 公園内外のマイクロツーリズムの展開
  - ・市や人と自然の博物館との連携による、恐竜をテーマとした取り組みの実施
  - ・市や関係機関等との連携による、サイクリングでの地域活性

（グリーンインフラ）

- 施設の修繕・新規整備の際は、透水性舗装化等の貯留・浸透機能を有効に活用

(3) リノベーション方針図 (○ハード、■ソフト)



### 3-4 取組内容

計画の対象ごとに、課題、実施主体（案）、概要を示し、これに基づいてリノベーションを実施する。

#### ①森の聖域ゾーン

##### <課題>

- 樹木の高木化が著しく、強風等による倒木等が懸念される。

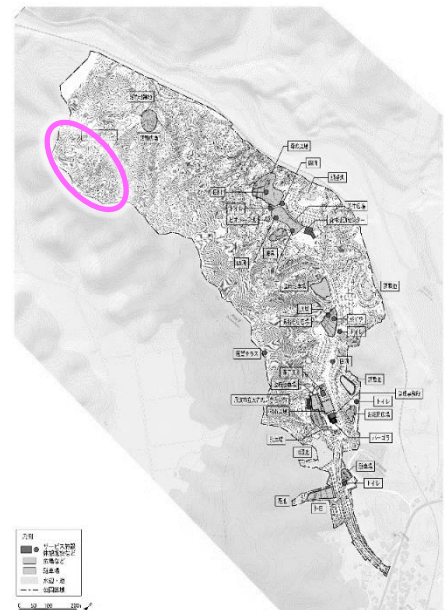
##### <実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	森林全体の間伐計画の策定及び間伐の実施	主体となって進める機関				
ソ		協力・連携して進める機関				

##### <概要>

森林活動センター事業の一環として実施している住民参画型の里山管理体験としての森の作業は継続しつつ、森林全体の間伐計画を策定し、計画に基づく間伐作業を実施する。



森の聖域ゾーン

② 棚田

<課題>

- 学校の予算削減等により、校外学習の団体予約が減少傾向にある。

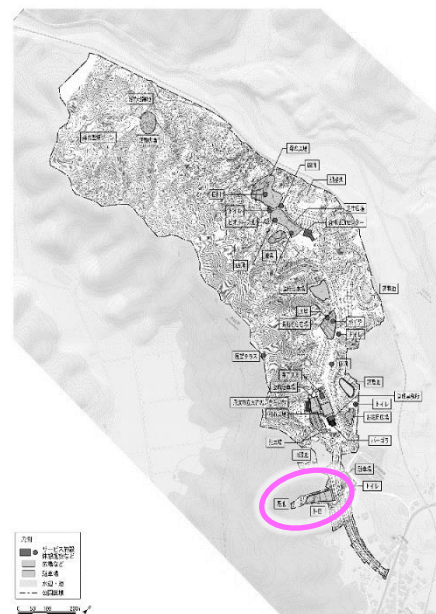
<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

	県	指	市町	民間	住民
ソ 参画のターゲットの拡充					
主体となって進める機関					
協力・連携して進める機関					

<概要>

現在、赤米の田植えや収穫、灰屋で肥料づくり等、学校の自然環境体験学習を受け入れているが、今後は、学校を中心とするのではなく、子育てグループなど参画のターゲットを拡充する。



棚田

### ③森林活動センター

#### <課題>

- 園内の間伐材をベンチ等の補修や木工教室に利用する等、その有効活用に取り組む必要がある。

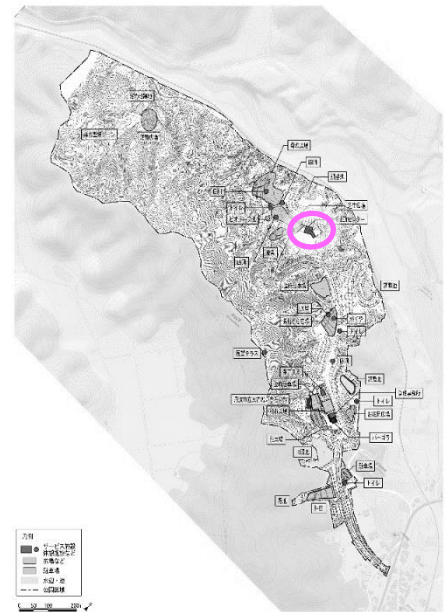
#### <実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ソ 幼児用の手作り木製遊具の製作と活用	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ソ 木のおもちゃの貸出	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

#### <概要>

幼児用の手作り木製遊具の製作と活用や、木のおもちゃの貸出による子どもが楽しく遊べる空間を提供するなど、園内の間伐材の有効活用に取り組む。



森林活動センター(外観)



森林活動センター(内観)

④管理事務所、かやぶき民家

<課題>

(管理事務所)

- 床が木製のため、トイレに行く場合、入り口でスリッパに履き替える必要があり、車イスが使えない。
- 授乳室がない。

<実施主体（案）>

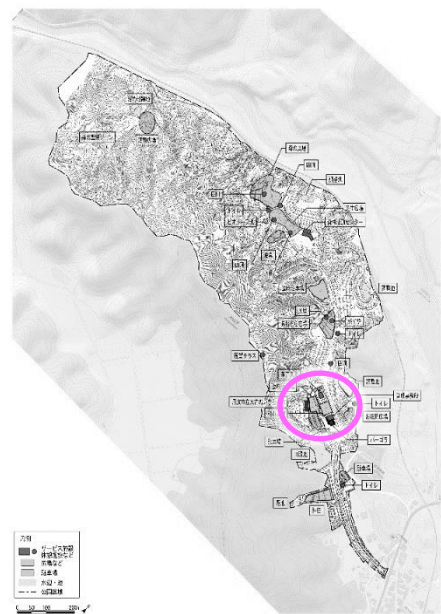
ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	バリアフリー対応の実施					
ハ	授乳室の設置					

<概要>

車椅子でも管理事務所に入れるようにするなど、バリアフリー対応を実施する。

また、隣接する広場においても、子連れの利用が多いため、管理事務所に授乳室を設置する。



管理事務所



かやぶき民家

⑤遊具（ローラーすべり台）

<課題>

- 子供連れ利用が多い公園であるのに、遊具の数が少ない。

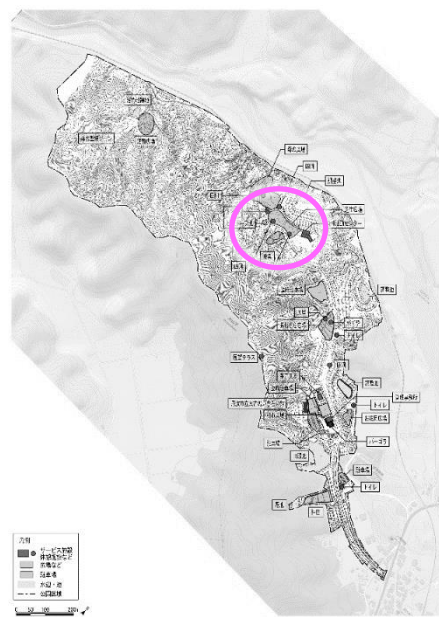
<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

	県	指	市町	民間	住民
ハ 恐竜遊具等の遊具の増設					

<概要>

子供連れ利用が多い公園であることから、恐竜をテーマとした遊具等の遊具の増設を行う。



ローラーすべり台

## ⑥恐竜体験施設

### <課題>

- 園内で恐竜化石が発掘された事実や、園内にある太古の生きもの館が、公園で活かされていない。
- 滞在時間が短い。

### <実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

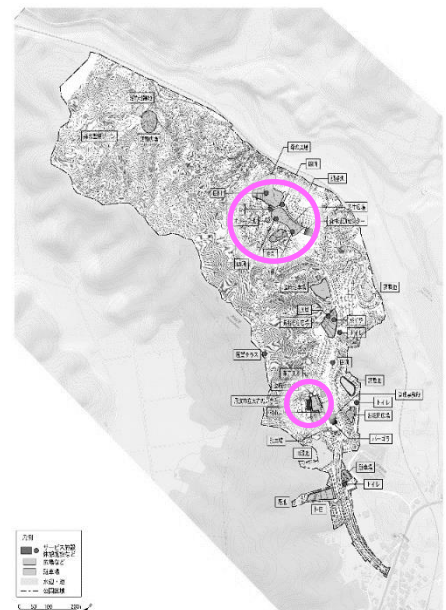
		県	指	市町	民間	住民
ソ	恐竜発掘地としての本公園の活性化、太古の生きもの館等との連携	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ハ ソ	恐竜をテーマとした新たな公園施設の整備	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ソ	化石発掘体験の充実、発掘体験ボランティアの育成	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

### <概要>

太古の生きもの館や県民局、篠山市と連携した、恐竜発掘地としての本公園の活性化及び、多様な恐竜が発掘されている丹波地域の観光振興に取り組む。

また、恐竜遊具、恐竜モニュメント、恐竜ベンチ、ARソフトなど恐竜をテーマとした新たな公園施設を整備する。

さらに、人と自然の博物館や太古の生きもの館と連携し、化石発掘体験の充実、発掘体験ボランティアを育成する。



## ⑦登山路

### <課題>

- 山頂や麓までの案内が不十分である。
- 樹林地では、樹木の生長に伴う高木化が著しいため、倒木対策等の安全対策が必要である。

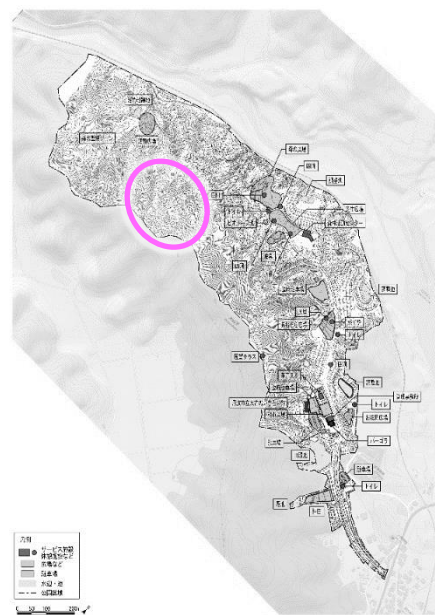
### <実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ 間伐材等を利用したサインの充実	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ 樹木の伐採による安全・眺望の確保	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

### <概要>

登山路は、普段のウォーキングに利用やノルディックウォーキング等のイベントで利用されていることから、間伐材等を利用したサインの充実や、樹木の伐採等による倒木被害を軽減する安全対策や、眺望の確保を行う。



登山路

## ⑧サイクルステーション

### <課題>

- ひょうごサイクリングモデルルートスタート／ゴール地点として位置づけられているが、サイクリストの休養施設がない

### <実施主体（案）>

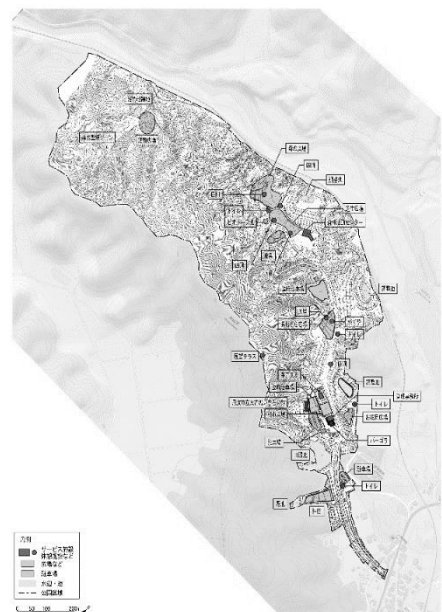
ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ</span>	サイクルステーションの整備					
	主体となって進める機関 協力・連携して進める機関					
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハ</span>	自転車利用環境の整備					
	主体となって進める機関 協力・連携して進める機関					
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ソ</span>	園路での自転車利用のルール作り					
	主体となって進める機関 協力・連携して進める機関					

### <概要>

ひょうごサイクリングモデルルート“兵庫丹波チャレンジ200”（R2.7）のスタート／ゴール地点となっていることから、サイクル拠点となるサイクルステーションを整備するとともに、休憩施設等、自転車利用環境の整備を進める。

また、歩行者の安全対策の検討など園路での自転車利用のルール作りを行う。



## ⑨ 駐車場

### <課題>

- 土日祝日は駐車場が満車になるため、芝生広場に臨時駐車場を設けているが、車両対応が不十分である。

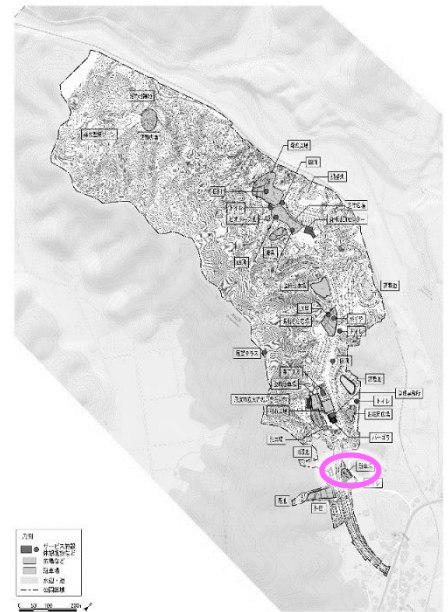
### <実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	臨時駐車場の車両対応整備や、新たな駐車場の増設					

### <概要>

臨時駐車場として利用している芝生広場の車両対応整備を行うとともに、新たな駐車場の増設を検討する。



## ⑩並木道

### <課題>

- 公園の名称になっている並木道のケヤキが弱っている。

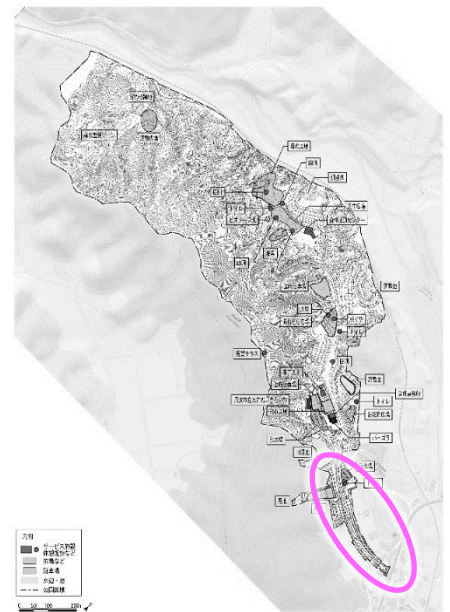
### <実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

	県	指	市町	民間	住民
ソ 樹勢回復や樹種変更等の検討					
	主体となって進める機関				
	協力・連携して進める機関				

### <概要>

エントランスから続く並木道のケヤキの樹勢回復や樹種変更等を検討する。



ケヤキの並木道

⑪管理運営協議会

<課題>

- プログラムの活性化などに向けた事業費の確保が必要である。
- 木工スタッフが高齢化している。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ソ	自主財源を確保する仕組みづくり	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ソ	木イベントを継続的に行える仕組みづくり	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

間伐材を用いて製作したベンチなどを他公園へ販売し、収益を公園施設の修繕などに充てるなど、自主財源を確保する仕組みづくりを検討する。

また、住民や企業等の参画・協働など、木イベントが継続的に行える仕組みづくりを検討する。

⑫社会情勢の変化への対応（ポストコロナ時代への対応）

<課題>

- ポストコロナを見据え、公園の新たな活用が期待されている。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ ソ	セルフ rekreiyeshon no suishin	主体となつて進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ハ ソ	mikurotsumurizumu no tenkai	主体となつて進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

ハイキングやトレイルランニング、サイクリング等の利用を促進するための環境を整備し、セルフ rekreiyeshon を促進する。

また、市や人と自然の博物館と連携した恐竜をテーマとした取組みや、市や関係機関等と連携したサイクリングによる地域活性化に取り組み、公園内外のマイクロツーリズムを展開する。

⑬社会情勢の変化への対応（グリーンインフラの推進）

<課題>

- 近年増加している豪雨に対応するため、公園内の施設を利用したグリーンインフラの整備が必要である。

<実施主体（案）>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	chiryu jinsoo kinouno seibu	主体となつて進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

施設の修繕・新規整備にあわせた透水性舗装化等、貯留・浸透機能を整備する。